

警城時報

行發日二十
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 警城時報社
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一月金廿圓
廣告料一行十四字日五十錢
日刊日曜祝祭日翌日休刊

八警察署員の大召集

豪雨を衝いて二百名召集

平市内の警戒演習

高橋警察部長、木村警務課長、を執行久和、主管課長は久和警防課長は十一日夜突如來成、成績良好で非常時下警察官として賞を賜へし。

署長會議

經濟警察打合

召集解除後午前十時から平署署長召集、八警察署長會議を開き、經濟警察事務について打合せた。

平商校卒業式

優等生は九名

平商業學校第二十回卒業式は十二日午前十時から同校講堂で舉行、卒業生は左記九十二名である。(五十音順)
安島末吉、青木肇、市毛美徳、色川茂、伊藤康夫、石田豊、上野忠信、大平勝、鎌倉忠治、木村保治、黒川眞平、久保木清次、小松嘉伯、酒井弘基、齋藤清春、酒井道夫、佐藤常雄、坂本尚平、志賀金七郎、鈴木光行、關内新一、田口孝藏、田口行男、田村十二郎、田村求助、田中賢治、友部正伯、島本啓三、中野新樹、新

花時を控へて

平署乗り出す

其筋では花時を前に精神總動員たので二萬圓で修理する事となし、強調して風俗營業者並に疎業、東京新湯鍋工場に依頼した。

青年學校

出席勧誘

平山及び工場が多い石城郡下の青年學校出席率は他に比較し成績思はずなもので、是れを來る二十日湯本町、二十一日平市中で、千葉貞夫、土居計三、中野昌訓、永山義男、永山常司、根本正、根本泰長、平山久、松野中、水野武雄、武藤仁雄、吉田正治、▲優等生 牛久泰志、鈴木道榮、中野一、根本博美、稻島

中野齒科

平市田町電五〇九
院長 中野惠次

公定價格

展示會終る

平市公會堂に於て去る八日、九日の二日間一般の參觀に供した公定價格現品展示會は需要者側に商人の狡猾さをあばき、商店側には自利心を喚起せしめたものが少くない。同展示會に照し合せて一般消費者に比較的公價を守られてゐると見るものは米味、木炭、木炭には一部商人に少量づつ、の抜き取りをなすものがあるが、の類で、ゴム製品に殊に學生用のズック靴には日頭購入するものと甚だしい價格差があり、喚起せしめられた。參觀者は各々同一品と見るもの商人の摘發に資されたものもあり、次へて織物類にも公定のそれと商店のそれに影しい格差あるを認識され、國産掃蕩の參考となつたものが頗る多く、前記の二日の參觀者三千名に上つたものの中には一部商店の暴利に對し展示會に照して憤怒したる向などもあり、是れ等不正商人に自衛を促さしめられた。商人に利に目をくらむ商人の中には如何にして公定を濟り得るかに考念日もこれ足らぬものがある。

觀光石城

再版發賣

平市田町警城文化協會、野澤武藏君は、發行した「觀光石城案内」の一部を訂正再版として十日發行した。表紙は郷土人形の六色刷り、バス路線を中心に郡内の名所舊跡、會社、銀行、ハイキングコース等を網羅し、絶好の觀光案内である。發行所マルトモ書店。一部三十錢。

天聲

「猫に小判」といふ諺がある。遣ひ道を知らぬものにも、どんな良い品物を持たせても役に立たぬ。
▲統制經濟が現在日本の經濟經營上最上のものかどうかは學者に任せ、假らに最上の方策であるとしたら、その理由をハッキリ國民に理解させない限り、無暗に實施したところでウマク行く道理がない。
▲最近の闇相場横行は困つたものである。いやしくも

南支を視る

野田俊作

第二に感じたことは支那の國民には祖先を崇拜し國を愛する觀念が乏しいことである。私は性來旅行好きであると同時に、名所舊跡を訪ねることとに深い興味を持つてゐるので、今度の旅行においても、廣東では遠處から印度から渡來して上陸したといはれる舊蹟を訪ねて見たいと考へ、支那人に「それを見たいが、何うして見られるか」と尋ねて見れば、それが何處にあるか、知れなかつたのでいたく失望

で更に其の筋の嚴重な取締を望まれてゐる。
▲同時にまづ以ていはゆる上層階級、有識階級は率先實踐せなければならぬのに、日本の現状はどうか？ 役人は國民に遵法を説きつゝ、自ら國民の木炭を買ひ白米を食ふ。上層人は與亞泰公日に社交俱樂部に集まつて酒やタバコを嗜むといふ。
▲日用物資の中で、一番闇相場のなほはだしいのは、番工大臣を政府に送り込んだ紙屋さんである。藤原さんも商工大臣になつたからとスグに舊友と絶好した譯でもある。まづ下層階級が飛ぶ上つて下層が見えなくなつたといふことになりはしないか？
▲下層を見ずに民情に即した政治が行へたら天下の奇蹟である。オレは役人だから別だといふのは講談に出て来る悪代官である。
▲上層人は身を以て國民に範を示し、國民を啓蒙して理解を深め、國法を理解の下に遵法させるやうにとめなければならない。ソウでない役人は、かうした點から考へて見ると、歴史を尊重せぬ支那は當然滅びる運命にあるといふ感想を持つた。然もこれは決して今のことではない。
▲一國の治安は、それが長年月に亘ると、斷りも違ふものがあるかといふことをまざまざと見せつけられた。
▲廣東の市街も皇軍の占領後治安維持會を組織されて、日安寧と股賑を取戻し、治安はよく維持されて何等の不安も危険も感じなかつた。事變前の人口は百二十萬と稱されてゐたが、私等の行つた時は避難し逃してゐた住民もだん／＼歸つて來て

平市人事錄

○出生 材木町阿部傳六三男 幸雄
○死亡 久保町佐藤精治(二七) 大町猪狩(二八)

かうした點から考へて見ると、歴史を尊重せぬ支那は當然滅びる運命にあるといふ感想を持つた。然もこれは決して今のことではない。
▲一國の治安は、それが長年月に亘ると、斷りも違ふものがあるかといふことをまざまざと見せつけられた。
▲廣東の市街も皇軍の占領後治安維持會を組織されて、日安寧と股賑を取戻し、治安はよく維持されて何等の不安も危険も感じなかつた。事變前の人口は百二十萬と稱されてゐたが、私等の行つた時は避難し逃してゐた住民もだん／＼歸つて來て

けふの

たは

徳は金を生ませ、直ちに徳化する。
信は胃を満させ、胃を満させれば信自ら厚し。
粗食に甘んじて美衣に競ふ女の心理、粗衣をばかして美食に飽く男の眼色。虚榮にも自ら虚實あり、實情にも自ら眞偽あり。
妻と妾を同じうしつゝ、他の女を夢想する悪性な夫あるが故に、夫と枕を並べつゝ、他の男を思慕する凶業な妻もある。
よく忘れるものは老いず、人間は忘れることによつて若素を得る。一切を忘れて生きる者に愛憎遺恨なし。
常に忘るゝものは、常に新ら

に權力を持たせて置くことは畢竟するに「氣狂ひに奴物」である。(吉田生)
徳は金を生ませ、直ちに徳化する。
信は胃を満させ、胃を満させれば信自ら厚し。
粗食に甘んじて美衣に競ふ女の心理、粗衣をばかして美食に飽く男の眼色。虚榮にも自ら虚實あり、實情にも自ら眞偽あり。
妻と妾を同じうしつゝ、他の女を夢想する悪性な夫あるが故に、夫と枕を並べつゝ、他の男を思慕する凶業な妻もある。
よく忘れるものは老いず、人間は忘れることによつて若素を得る。一切を忘れて生きる者に愛憎遺恨なし。
常に忘るゝものは、常に新ら

花村(やぶそは)の御披露

毎度有難う存じます。御なじみのやぶそはを「花村」と改め室内の設備を改善、御好み次第の御料理を心地よく召上るここの出来るやうになりました。是非御来店御最負の程願ひ上ます。

割烹 花村
田町【電四番】

女販賣員を募る

◆採用員 五名
◆年齢 十八歳ヨリ二十歳マデ
◎詳細ハ平職業紹介所ニ問ヒ合セ下サイ

平市 三井呉服店
電話 二八四番

生徒募集

1. 本 科 一年 (二十九年卒業) 五十名
2. 裁縫専修科 一年 (二十九年卒業) 百名
3. 師範科 (二十九年卒業) 二十名
4. 専攻科 (二十九年卒業) 三十名
5. 本 科 二年 (補欠入學) 若干名
6. 『附設』洋裁科 (六ヶ月修了) 二十名

右各科共入學ヲ許ス志願者ハ本校規定在學證書ニ適當記入捺印ノ上二月一日ヨリ三月三十日迄平市藤田女學校ニ提出シテサイ

追而提出書類考査ノ上證書受付ノ順ニ依リ入學許可致シマス

▲詳細ハ本校宛學則請求サイ(返信料參銭封入)

福島縣平市田町
文部大臣認可 藤田女學校
電話三二三番

生徒募集

内容ノ充實ト教授ノ徹底
各種受驗難關突破成績優秀
學費ノ低廉ト古教科書斡旋
講堂完成ト六學級編成
實用科目(簿記珠算)特設

第一學年二百名

回新學期四月五日

磐城青年學校

平市字六間門

開業

十二月開店いたしました
御来店を御待ちいたします。

お壽しと 味の料理 鮓 茂
平驛前通り
電話(呼出)五七〇番



和文タイプライター
最新事務用品類
文具 房具一式
製圖並に測量用品
謄寫版並に附屬品

平市田町銀街
藤田女學校
電話 七三〇番

とんかつ

専門の店

御ひいきをお願致します

平市仲田町

かの家
電話四六五番

(出前迅速)



特約店 大平屋藥店
平市一丁目
電話【四六二】

「言」の一言にして盡く

神戸牛

すき焼

相始め申候

日本料理 山茶莊
電話五二〇番

二百年の歴史を有する

消食散

丸龜商店
平市大町電話一三三番

平病院

院長 醫學博士 鈴木 定藏
副院長 鈴木 定藏
小兒科 副院長 土井 利明
内臓外科 副院長 高橋 俊幸
皮膚泌尿器科 院長 鈴木 定藏
物理療法科 院長 鈴木 定藏
藥劑科 部長 吉本 孝平

干やなぎ
いか切込み
平市土橋
丸仙商店
電話六六二番

内科 院長 安齋 徹
産婦人科
平市田町(電話四五七番)
安齋醫院
入院隨意

移轉廣告

今般左記へ新築移轉致候間御通知申上候
昭和十四年四月
平市南町十四番地(警察署通り角)
(舊診療所 平市六丁目)

木村外科醫院

外科一般
内臓外科
性病科
肛門病科

木村 淳
電話三〇九番
◎入院應需